

平成 20 年 7 月 9 日  
東京都板橋区小豆沢 3-6-10  
オリエンタル酵母工業株式会社

## 日本向け残留農薬一斉分析の新サービス開始

オリエンタル酵母工業(株) (本社：東京都板橋区、社長：中村隆司) は、昨年 4 月に業務提携しましたユーロフィンズ サイエントフィック社 (所在地：フランス・ナント) との残留農薬分析事業の業容を更に拡充いたします。

当社はこの 1 年間、日本の食品業界の残留農薬分析に対する項目や精度面のニーズを吸収し、分析検査の項目数を大幅に増加させた日本版の新サービスを開始いたしました。

ユーロフィンズは欧州最大の分析検査会社であり、残留農薬の検査では世界で使用されている農薬のデータマトリックスを用い、検体に合わせた検査項目を絞り込む提案型分析で、高い信頼性を有しております。

しかしながら、日本はポジティブリスト制度の導入や、中国産冷凍食品問題などに代表される食の安全・安心に対する流通サイドや消費者などの要請から、一斉分析を望む声が更に高まってまいりました。

こうしたニーズに対応すべく、今年 3 月、日本向けにポジティブリスト 360 項目を含む 460 項目をカバーするサービスと、ポジティブリスト 310 項目を含む 470 項目をカバーするサービスを開始いたしました。

さらに、輸入食品の残留農薬を分析するため、平成 20 年度モニタリングリスト中 423 項目をカバーしたサービスと、学校給食の残留農薬に特化し限られた予算で子供達の安全・安心を守るために、ポジティブリスト 200 項目を含む 234 項目の分析に絞り込みましたサービスを 7 月 1 日より開始いたしました。

こうした新製品の投入により、1 年後の年商 1 億円を目指しております。今後も、日本の法令などに柔軟に対応した検査項目を含む一斉分析サービスを当社独自の企画としてご提供してまいります。

ポジティブリスト制度：残留基準が設定されていない農薬、動物用医薬品又は飼料添加物が、人の健康を損なうおそれのない量として定められる量を超えて残留する食品の、販売等が原則禁止される制度

モニタリング検査：輸入食品に対し無作為に抽出され、実施される検査

モニタリングリスト：輸入食品における違反率や、違反内容の健康に及ぼす影響の程度等を勘案し、モニタリング検査の検査項目を定めたリスト

以上